

一般会計予算決算常任委員会
産業建設分科会記録

令和4年12月5日

【開催日】 令和4年12月5日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前11時45分～午後0時6分

【出席委員】

分科会長	藤岡修美	副分科会長	中岡英二
委員	恒松恵子	委員	中島好人
委員	中村博行	委員	森山喜久
委員	矢田松夫		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

人事課長	古屋憲太郎	人事課人事係長	藤田浩子
人事課給与係長	室本祐	経済部長	辻村征宏
経済部次長兼農林水産課長	川崎信宏	農林水産課技監	山崎誠司
農林水産課耕地係長	本多享平	建設部長兼大学推進室長	大谷剛士
建設部次長兼都市計画課長	高橋雅彦	土木課長	中村景二
土木課課長補佐	大和毅司	土木課主査兼管理係長	壹岐雅紀
土木課用地係長	日高辰将	都市計画課主査兼都市整備係長	藤本英樹
下水道課主査兼管理係長	中村扶実子		

【事務局出席者】

局次長	島津克則	主査兼議事係長	中村潤之介
-----	------	---------	-------

【審査内容】

- 1 議案第68号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について

午前11時45分 開会

藤岡修美分科会長 それでは一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会を開会いたします。議案第68号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）について、審査番号①、人事課及び経済部の農林水産課の説明をお願いします。

古屋人事課長 それでは、議案第68号令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算のうち、人件費に係る補正について、総括的に御説明します。この度の人件費の補正は、大きく分けて二つあります。一つは人事院勧告に伴うもの、もう一つは人事異動に伴う決算を見込んだ調整となります。お配りしております資料を御覧ください。まず1ページ目です。人事院勧告については、民間の給与が公務員の給与を上回ったことから、給料表を30代半ばまでの若年層に対して、200円から4,000円ほど引上げが行われます。若年層ほど改定率が高くなっておりまして、高校卒で4,000円程度、大学卒で3,000円程度引き上げられることとなっております。2点目としまして、賞与の勤勉手当の支給月数を0.1か月分引き上げるということです。令和4年度は12月の勤勉手当を引き上げて、令和5年度は6月と12月が均等となるように0.05月分ほどを割り振るようになっております。それでは、13ページを御覧ください。それまでは各款ごとに集計を出しておりますが、一般会計の全体として御説明させていただきます。表の見方としまして一番上に総計がありまして、その内訳として下に人勧と人事異動ということで記載しております。それでは、一番上の総計を御覧ください。一般会計全体では9,256万4,000円を増額し、補正後の額を42億5,058万1,000円とするものです。費用ごとの補正額の内訳は、1節報酬については、パートタイムの会計年度任用職員の報酬月額が人事院勧告に伴い引き上げられたこと及び人事異動に伴うものとして442万8,000円を増額するものです。2節給料については、人事院勧告の影響で1,288万8,000円の増額があるものの、育児休業を取得している職員が10名程度いることから、給料の調整等によって

3, 805万2, 000円を減額した結果、全体としましては2, 516万4, 000円の減額となっております。3節の職員手当等については、1億2, 548万7, 000円を増額するもので、主な要因としましては、人事院勧告に伴う賞与等の増額が1, 998万2, 000円、今年度の早期退職者等の退職手当と時間外勤務手当の増によるものが1億550万5, 000円となります。次に、4節共済費については、人事院勧告に伴う増加があるものの、育児休業等に係る給与の減額により、全体として1, 176万3, 000円の減額になります。次に、8節旅費については、パートタイムの会計年度任用職員の通勤手当相当部分について勤務実績から41万8, 000円を減額するものです。最後に、18節職員福祉費については6, 000円を減額するもので職員の退職等に伴う調整となります。説明は以上です。御審議のほどよろしく願います。

川崎経済部次長兼農林水産課長 補正予算書48、49ページをお開きください。6款農林水産業費、1項農業費、4目農地総務費、18節負担金、補助及び交付金、農業集落排水事業補助金54万1, 000円の増額は、先ほど御審査いただきました下水道事業会計に対して、一般会計から負担する繰出金です。増額補正の理由は、電気代の高騰によるものです。以上です。御審査のほどよろしく願います。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりました。ここで委員の質疑を求めます。まず、人件費全般です。

森山喜久委員 この度扶養手当が勤勉手当の関係から削減という話なんですけど、これは人事院勧告に関わるものでしょうか。

古屋人事課長 それは人事評価に伴って、令和6年度から入れようとしているものですので、この度の人事院勧告では、扶養手当の減額はありません。

森山喜久委員 扶養手当自体が減額されているのは、あくまで人事異動でしょうか。

古屋人事課長 そのとおりです。

森山喜久委員 参考に扶養手当の対象人員、人数はどれぐらいか教えてもらっていいですか。

古屋人事課長 全体としての人数は、今は資料を持っていません。

森山喜久委員 時間外と退職手当の関係を合わせて1億円増額と聞こえたんですが、時間外が突出した課はあるんですか。

古屋人事課長 時間外の補正が約3,500万円となっております。そのうち災害に係るものが2,000万円、あとマイナンバーの関係で土日に出勤しており、それが250万円です。あと新型コロナウイルス関係の事業を進めたことで500万円等となっております。

森山喜久委員 最近、災害の関係とかが増えて、技術職員が足りないのではないかという話がありますが、その辺の対応が具体的にありますか。

古屋人事課長 この度、ちょっと大きな災害が起こりまして、建設部、農林水産課は本当に大変だっただろうと思います。一応、建設部からいろいろ応援を出していただいて何とか乗り切ったというのはありますが、たしかに、技術職だけじゃなくて、全体の職員数が若干足りていないのかなという思いもあります。仕事量を見ながら、適正な採用を行っていきたいと考えております。

森山喜久委員 一般職が5人減となっているように見えるんで、その辺で残っている人間一人一人に負荷の掛かってきている状況が何年も続いている

と思います。人事課も大変だと思いますが、職員の体制を見直してもらえたらと思いますので、よろしくをお願いします。

藤岡修美分科会長　ちなみに技術吏員を募集されていましたが、応募状況はいかがですか。

古屋人事課長　この度募集しているものに応募はありませんでした。

藤岡修美分科会長　人気がないんですか。

古屋人事課長　夏前にも募集していたんですが、そのときもなく、この度追加しましたが、また応募がないという状況です。

藤岡修美分科会長　それは県内13市、全市的なものなんですか。

古屋人事課長　他市からも、なかなか確保が難しいという話は聞いております。

中島好人委員　報告があった1ページの①です。若年層で金額を値上げすることはいいことですが、対象人数と影響額は、幾らになるんですか。

古屋人事課長　この度の給料表の改定は、35歳ぐらいまでの職員が対象で、約150人おります。この度の人事院勧告の給料に対する影響額は、1,288万8,000円となります。

藤岡修美分科会長　人事課分はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、農林水産課の農業集落排水事業補助金について、委員の質疑を求めます。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、審査番号①の審査を終わります。暫時休憩し、職員を入れ替えます。

午前 11 時 55 分 休憩

午前 11 時 59 分 再開

藤岡修美分科会長 それでは分科会を再開します。議案第 68 号令和 4 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 7 回）につきまして、審査番号②、建設部関係の執行部の説明を求めます。

中村土木課長 それでは、議案第 68 号令和 4 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 7 回）について、土木課分を御説明します。議案書 58、59 ページを御覧ください。8 款土木費、2 項道路橋りょう費、3 目道路橋りょう維持費、10 節需用費の光熱水費及び修繕料の補正予算について御説明します。まずは、光熱水費について御説明します。昨年から、資材や人件費等が高騰しており、今年度に入りまして、電気代、ガス代も高騰しております。このことにより、光熱水費に不足が生じたので、154 万 5,000 円の増額補正を行い、当初予算 477 万 9,000 円を 632 万 4,000 円にするものです。また、修繕料につきましては、市道の維持管理に関する修繕を行うもので、舗装、道路構造物及び道路附属物の修繕を行っております。本年度も道路パトロールの実施や市民からの情報提供により、不具合部分の補修を適宜行っておりますが、この補修費について不足が生じたので、1,300 万円の増額補正を行い、当初予算 3,742 万 5,000 円を 5,042 万 5,000 円にするものです。続きまして、8 款土木費、3 項河川費、1 目河川管理費、10 節需用費の光熱水費の補正予算について御説明します。先ほど御説明しました道路橋りょう維持費と同様の理由により、光熱水費に不足が生じたので、190 万 1,000 円の増額補正を行い、当初予算 519 万 7,000 円を 709 万 8,000 円にするものです。説明は以上です。御審議のほどよろしく申し上げます。

高橋建設部次長兼都市計画課長　引き続きまして、都市計画課の関係分について御説明させていただきます。補正予算書につきましては60、61ページになります。8款土木費、5項都市計画費、1目都市計画総務費、18節負担金、補助及び交付金、公共下水道事業負担金2,273万6,000円、公共下水道事業補助金28万円の増額と、23節投資及び出資金240万円の減額につきましては、人事異動及び人事院勧告による人件費の調整、国庫補助金の追加配分による建設改良費の増額、電気代の高騰による動力費の増額等に伴うものです。説明は以上です。よろしく申し上げます。

藤岡修美分科会長　執行部の説明が終わりました。委員の質疑を求めます。

森山喜久委員　道路橋りょう維持費、10節修繕料の関係ですけど、当初予算に比べて30%、40%程度の増額予算かなと思います。これは当初では分からなかったところが道路パトロール等で分かったということでしょうか。

中村土木課長　土木課としましては、事故につながりかねないなど、市民の皆様のお安全安心を脅かすものについては、早急に補修しなければならないと考えておりますが、整備して何年も経過している道路も多く、補修の必要性が生じております。近年の大雨など自然災害による道路破損について、予見し難いものがあります。今年度は、前年度と同じぐらいの補正予算になっているんですが、今年は雨が多いということもありまして、不足が生じたということになっていると考えております。

森山喜久委員　実際のところ5,000万円程度は、当初から要るんだと認識していたほうがいいんですか。

中村土木課長　近年、補正を毎年している状態が続いておりますので、来年度

についても、予算確保に努めていきたいと考えておるところです。

森山喜久委員　なかなか予算配分が厳しいかもしれませんが、予算確保をよろしくお願ひしたいと思ひます。

藤岡修美分科会長　ほかによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは以上で質疑を終えます。それでは、一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会を散会します。

午後0時6分　散会

令和4年（2022年）12月5日

一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会長　藤　岡　修　美